

第2回 第6次豊浦町総合計画策定審議会 議事記録

<p><u>開会</u> <u>進行の交代</u></p>	<p>(藤原地方創生推進室長)</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>ただいまより、第2回第6次豊浦町総合計画策定審議会を開会いたします。</p> <p>本日の会議ですが、金丸委員と田中委員が所用のため欠席となっております。</p> <p>次に、委員の交代についてお知らせします。</p> <p>豊浦町自治会連合会会長の神山委員ですが、役員交代に伴い、新たに長谷川幹雄(はせがわ みきお)様が会長に就任されました。</p> <p>長谷川様に委員就任のお願いをしたところ、快くお引き受けいただきました。</p> <p>長谷川委員、よろしければ、一言ご挨拶をお願いできますでしょうか。</p>
<p><u>交代委員挨拶</u></p>	<p>自治会連合会から参りました長谷川でございます。皆さん、初めての方ばかりですが、よろしくお願いいたします。</p>
<p><u>資料の確認</u> <u>進行の交代</u></p>	<p>長谷川委員、ありがとうございます。</p> <p>それでは、まず、本日の配布資料の確認を行います。お手元に、上から順に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 議事次第 ● 出席者名簿 ● 座席表 ● 資料1 前回の振り返り ● 資料2 中学生からの意見等 ● 資料3 基本構想(骨子案) ● 参考資料1 基本構想(骨子案)の考え方 ● 参考資料2 「まちづくりの基本目標」の検討 <p>を配布しております。</p> <p>資料としては、合計5つの資料はございますか？</p> <p>資料の不足がなければ、小西会長、会議の進行を、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p><u>議事(基本構想策定に向けた考え方について)</u></p>	<p>(小西会長)</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>長谷川委員、委員交代ということですが、以後、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事次第に従い、進めてまいります。</p> <p>議題の1つ目、「基本構想(骨子案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局説明

(地方創生推進室 清水係長)

<事務局説明>(20分程度)

地方創生推進室の清水です。

私の方から、資料1～3及び参考資料1、2を説明させていただきます。

まず、資料についてですが、

●資料1は、前回審議会で確認した事項及び委員の皆様からいただいたご意見について、おさらいする資料です。

●資料2は、中学生との意見交換会で出された意見をまとめた資料です。

●資料3は、基本構想(骨子)の構成・内容の案をまとめた資料です。

●参考資料1及び2は、資料3に関連する資料となります。

それでは、資料1から順番に説明いたします。

まず、1ページ目ですが、全体の予定となっており、赤枠部分が今回の部分となっております。議題と資料をご確認していただければと思います。

(日程変更の件は良いですか? :「第4回目については、役場の都合により、第1回目にお示した日程から変更になっていますので、ご承知おきください。」など)

次に2ページ目ですが、このページ以降は、前回のおさらいとなります。

左の図は、前回確認していただいた部分であり、変更があるものについて、比較できるよう前回バージョンも掲載しております。

右半分は、左の図に関連していただいたご意見と、資料3の基本構想(骨子)のどの部分に反映していくかを記載したものとなります。

まず、2ページ目ですが、左の図について、「厳しい財政状況」を踏まえ、「みんなががんばること」や「行政の役割」などについて、事務局(案)を提案しておりましたが、「行政の役割」からボトムアップする形で記載されている矢印について、右の「1-2」でご意見いただいたとおり、「行政と町民と議会のそれぞれの取組は、双方向、両面通行で考えて、構想などに挙げられることが望ましい」との意見とともに、「双方向の矢印を付す形にすべきではないか」という提案をいただきましたので、修正を行っております。

また、「税収関連」や「10年後のイメージ」など合わせて4つご意見をいただいております。こちらについては、一番右に「基本構想への反映について」に記載のとおり、基本構想(骨子)の方で、意見の反映を行っていくこととしております。

この点については、後ろのページでも同様ですが、詳しくは基本構想の説明の際に、触れさせていただきます。

なお、一部のご意見については、基本計画にも関連するものがございますが、そちらについては、第3回で基本計画(骨子)をお示しする予定ですので、そちらにも反映していくことを考えております。

次に3ページ目ですが、「まず最初に決めておきたいこと」として、4つの重要なポイントを事務局(案)として提案しました。

「①誰が主体の計画」から「④どのように進行管理する」については、前回資料では、2つの案を事務局(案)として提案しておりましたが、結論としては、すべて右側部分ということになりました。今回資料に反映しております。

関連する意見は1つであり、「各種団体との連携やそれら団体とのプロジェクト形成」に関するご意見でした。

こちらについても、実際の基本構想(骨子)の方で、意見の反映を行っていくこととしております。

次に4ページ目ですが、第6次総合計画の全体構成を確認しました。

こちらについては、図の修正はありません。

実施計画を第6次総合計画では削除することを確認しました。

関連する意見は4つであり、「3-1」及び「3-2」が「検証関連」、「3-3」は「実施計画を削除することとした後押しのご意見」、「3-4」は「施策関連」についてです。

「3-3」については基本構想で、それ以外は基本計画で意見の反映を行っていくこととしております。

以上で資料1、前回までのおさらいを終了します。

次に、資料2は、中学生からの意見をまとめた資料です。

1ページから3ページまでがアンケートの結果、4ページ以降がワークショップの成果品となります。

まず、1ページ目をご覧ください。

「10年後、豊浦にいると思うか、またその理由」を質問しました。

90%以上の生徒が「10年後は豊浦にいないと思っている」という結果となりました。

「いない」理由としては、特に、「就職するため」が半数を超え、続いて「都会に住みたいから」となっています。

この結果は、「都会へのあこがれ」ということもあると思いますが、なにより「やりたい仕事は豊浦にはない」ということが大きな要因としてあるものと考えられます。

続いて2ページ目をご覧ください。

「豊浦町の魅力と特に将来に残してほしい魅力」を質問しました。

「豊浦町の魅力」では、「自然環境が豊か」、「特産品があること」、「良好なコミュニティ」、「公共施設が便利」が上位を占め、

「将来に残してほしい魅力」では、「豊浦町の魅力」と同様に「自然環境が豊か」、「特産品があること」のほかに、「イベントがあること」、「観光資源があること」が挙げられています。

「将来に残してほしい魅力」については、「豊浦町の魅力」の中で、特に残してほしい魅力を記載していただいておりますので、中学生が考える優先順位というのが、見えているものと認識しております。

続いて3ページ目をご覧ください。

「豊浦町のイマイチなところと特に直してほしいところ」を質問しました。

「豊浦町のイマイチなところ」では、「商業施設が少ない」が圧倒的に多く、ついで、「道路環境が悪い」、「娯楽施設が少ない」が上位を占めております。

「特に直してほしいイマイチなところ」については、先ほどの魅力と同様に、イマイチなところから、選択していただいております、「商業施設が少ない」がやはり多数となっております、中学生が思う、直してほしいイマイチなところがよくわかるのではないかと思います。

続いて、4ページ目以降が中学生を5つのグループに分け、ワークショップ形式で作業した結果です。

最終ページの9ページをご覧ください。

5つのグループの意見をすべてまとめたものとなります。

黄色が「良いところ」、青色が「イマイチなところ」、赤色が「解決アイデア」を示しており、また、文字の大きさは意見の多さを表しております。

全体的に見ると青色が多く、青色の文字の大きさも黄色よりも大きいものがあります。中学生からすると、「イマイチ」なところの方が「良いところ」よりもよりたくさん提示できたという結論です。

中学生ならではのものもあれば、私たち大人が見ても納得できるものもあると考えております。

そして、赤色、イマイチなところの解決アイデアですが、「空いている施設の活用」ですとか、「もっとコミュニティの力を発揮する」などの意見が得られました。

10年後には20代前半となる中学生の意見です。アンケート結果では、豊浦町にはいない方が圧倒的に多い状況ですが、大人ではない、中学生目線の意見も大切に、可能な限り、総合計画に取り込んでいきたいと考えております。

なお、詳細については、4ページから8ページをご覧くださいと思います。

資料2については、以上となります。

次に資料3に移ります。

資料3は、資料1及び資料2を踏まえつつ、基本構想の骨子案として作成したものです。

また、先日、実施したシンポジウムのアンケートも現在回答が集まってきておりますので、そちらも考慮したいと考えておりますし、本日の出た意見も踏まえていきたいと思っております。

関連資料である参考資料1及び参考資料2については、都度、ご説明しますので、横にご用意いただければと思います。

それでは、まず、表紙の裏面の目次をご覧ください。

第1章から第6章までで構成する形で作成しております。

ここで、参考資料1をご覧ください。

左半分に「基本構想の目次構成とその考え方」、右側に「基本構想、基本計画の策定の考え方」を示しております。

まず、左半分についてですが、第1章から第6章までとなっております。

これは一般的な計画として、よく使用されている構成を採用しております。

第1章の「総合計画の目的と位置付け」及び第2章の「総合計画の構成」については、前回の会議でご説明させていただいた内容が軸となっており、特に説明は必要ないか

と思います。

第3章については、「豊浦町の現状」として、「豊浦町を取り巻く社会情勢」、「今後の社会情勢」、「豊浦町のポテンシャル」の3つで現状を確認する項目となっております。

第4章については、第3章を踏まえ、「将来のまちの姿」、すなわち将来像を定めるとともに、その実現のために町民・議会・役場が共有する基本姿勢を掲げる項目となります。

第5章については、第4章の「将来のまちの姿」に対し、どのように取り組んでいくか、目標を定めるとともに、その方針を掲げる項目となっております。

役場各課からのヒアリング結果や中学生からの意見等を踏まえ、目標を導きます。

最後に、第6章については、町民・議会・役場の役割分担を記載する項目となっております。

簡単に言うと、第1章で総合計画の目的を確認し、第2章で構成を説明し、第3章で現状を把握し、第4章で大きな目標を掲げ、第5章で実行に向けた目標を立て、第6章で目標に向けた役割分担を掲げる、という構成になります。

また、右半分は第1章から第6章の中でも主要部分となる第4章の「将来のまちの姿」及び第5章の「まちづくりの基本目標」をどのように導くか、その考え方をフローチャートのように視覚化したものです。

特に、実行部分となる第5章については、役場だけが考える課題だけで目標が決まることがないように、中学生や町民からのご意見もしっかり反映されるような仕組みとしております。

こちらについては、後ほど、参考資料2で説明します。

それでは、全体の考え方を整理したところで資料3に戻り、実際の内容を確認していきます。

第1章及び第2章である1ページ目及び2ページ目は、前回の議論で内容を確認していることから省略します。

続いて、3ページ目は第3章として「豊浦町の現状」を整理したものです。

「(1)豊浦町を取り巻く社会情勢」については、前回審議会で確認しておりますので簡単に説明しますが、

「①人口」については、減少傾向であり、今後も間違いなく「減少」していきます。

「②行財政」については余裕がない状況でもあり公債費の割合も高い状況ものの、職員の給与は平均的。

「③労働力」については、主要産業である第一次産業従事者が高齢化しています。労働力人口は西胆振では高い方ですが、若い世代の完全失業率が高く、働きたいが仕事がない状況と言えます。

「④産業収入」については、第一次産業は西胆振で最も高いですが、逆に第二次、三次産業は最も低い状況です。

「⑤子育て・教育環境」については、西胆振の中では比較的環境は整っている状況と言えます。

「⑥医療・福祉環境」については、西胆振の中では、医療は平均的、福祉は比較的環境

境が整っている状況ですが、医療に関しては医療従事者が少ない状況となっています。

次に、「(2) 今後、豊浦町が身を置く社会情勢」については、10年後を見据え、左側「チャンスに対し攻める部分」と、右側「リスクへの対応」に分けて社会情勢を想定しました。

わかりやすく真ん中部分にキーワードを掲げています。

「価値観やライフスタイルの多様化」、「環境問題」、「少子高齢化の進展」、「域外需要の動向」、「社会経済システムの変化」、「基盤整備」です。

例えば「価値観やライフスタイルの多様化」についてはSNSの更なる向上やネット販売等の需要拡大などが見込まれますが、逆に流行の趨勢が早いというリスクもあります。

「少子高齢化の進展」では「女性の社会進出の促進」や、「高齢者の健康増進」により社会での活躍が期待されますが、少子化の影響により生産年齢人口の減少が懸念されます。

「社会経済システムの変化」では「地方分権」による市町村の役割強化やクラウドファンディングの更なる普及などが期待されますが、一方で、国から地方への交付金の減少や消費税増税などの可能性があります。また、近年では全国的に大規模災害が発生しており、豊浦町においても東日本大震災の時には津波が押し寄せるなど、被害も出ております。大規模災害はまさに社会経済システムを破壊してしまう可能性もあり、リスクへの対応というのは非常に重要であります。

次に5ページに移ります。

「(3) 豊浦町のポテンシャル」です。

これまでの町民も含めた会議やワークショップ、アンケート結果等を踏まえ、「アピールできる良いところ」と「努力が必要なところ」に分け整理した結果、3つに分類しました。

1つ目が

●住む環境として整っている部分も多いが、選択肢が少ない。また、地域活動も停滞気味

2つ目が

●第一次産業をメインとした産業構造だが、第二次・第三次産業が弱い

3つ目が

●町外にアピールできる自然を中心とした魅力はあるが、アピール力が足りない
それぞれ左右に関連項目を掲載しておりますので、確認いただければと思います。

次に6ページ目ですが、第4章の「将来のまちの姿」です。

第3章の豊浦町の現状を踏まえ、「将来のまちの姿」を掲げます。

ここについては、現在、検討中ではありますが、前回審議会でも「将来は明るいもの考えた方が良く」とご意見をいただきましたので、「前向きに、明るく、わかりやすく、メッセージ性の高い文言」にしたいと思っております。

総合計画のメイン部分でありますので、ぜひ、後ほど、皆様からもアイデアなりをいただけると助かります。

なお、雲型の吹き出しが付いていますが、こちらについては、今後のページでも出てきますが、前回審議会でもいただいた意見の反映箇所としておりますので、そのようにご認識ください。

次に7ページ目ですが、「将来のまちの姿」の実現に向けた基本姿勢です。

基本姿勢とは何かと思うかもしれませんが、この計画の主体は「町民・議会・役場」であり、それぞれがしっかりと役割を果たすことが重要です。

ただし、その際に、何の方向性もなく、それぞれが動いてしまうと、うまくいくものもうまくいきません。

ですので、基本姿勢を掲げ、「どのように総合計画に関わっていくか」、その考え方を「町民・議会・役場」が共有するための項目となります。

キーワードは3つ。「理解・対峙」、「専心・集中」、「協働・共創」です。

用語解説は下に付けております。

なぜこの3つを導いたかは「10年後は」から始まる文章に書いておりますが、ポイントは波線のアンダーライン部分です。

第3章の豊浦町の現在、将来を取り巻く状況を踏まえ、今後、「すべてのことに満遍なく対応することは困難であり、それを町民・議会・役場それぞれがしっかりと理解し、対峙していくことが重要」としています。

その上で、将来の可能性やポテンシャルを活かすために、「豊浦町の魅力に専心し、そこを伸ばすことに集中することが重要」としています。

そして、これらについて「町民・議会・役場が協働し、知恵を結集して、新たな形を共創することが重要」としています。

これら3つのキーワードを共有し、取組を進めていくことが、良いと考えております。

次に「第5章 まちづくりの基本目標」です。

第4章までは、現状を把握しながら、目指すべき「将来のまちの姿」を設定し、基本姿勢のもと取り組んでいくという考え方をまとめた部分です。

第5章からは、実際にどのようなことを進めていくのかの部分となります。

ご覧のとおり、「まちづくりの基本目標」と書かれたものが4つ設定されております。

これは何か。どのように導いたのか、となります。

実際に、どのようなことを進めていくことが良いのか、これは大変重要であるとともに、非常に難しいことだと認識しています。

やみくもに、思いつくことを羅列しても、また、この審議会の場で意見を出し合っても、見落としてしまうものがあるのではないかと考えます。

そこで、こういうときには、行政が役に立ちます。

ここで、参考資料2をご覧ください。

参考資料2は、豊浦町の現状と課題について、役場各課へ聞き取り調査を行い、まとめた資料です。

ご存知のとおり、役場の業務は広範囲です。

ですので、役場の各課業務を確認することで、限りなく、見落としを防げると考えました。

さらに、業務内容を確認するだけでなく、現状と課題整理をすることしました。つまり、見落としがないよう広範囲をカバーし、かつ、現状と課題を整理することで、今、何が問題なのかを把握し、その問題を解決するためには、何をしたら良いのかがわかるということになります。

何をしたら良いのかがわかるということは、目標がわかるということになります。このような理論構成で、4つの「まちづくりの基本目標」を導きました。

ただし、それだけでは、役場のみの考えで、導かれることになってしまうので、まとめたものに、中学生や町民の皆様からのご意見、審議会での委員の皆様からのご意見を反映させることで、これを回避しております。

では、具体的に、参考資料2の説明を行います。

1ページ目は、まとめのページ、2ページ目から5ページ目が各課から挙げた「現状と課題」を整理したものとなります。

具体的には、1ページ目の一番右側にオレンジ色のマルで囲まれた単語が並んでいます。

上から「住宅」、「移住」、「観光」などです。

これを導いたのが2ページ目から5ページ目になります。

それでは、2ページ目をご覧ください。

一番右側に各課の現状と課題の記載があり、例えば一番上の部分だと、「住宅」は「総務課企画財政防災係の住宅購入支援」や「地方創生推進室の空き家バンク事業」から導いております。

すべてを確認すると時間がかかりますので、ここでは説明しませんが、このようにして1ページ目の一番右側のワードを導いております。

1ページ目に戻ります。

一番右側のワード、これが行政で言う「施策」に当たりますが、言葉が難しいので、あまり気にしなくても大丈夫です。ただ、「施策」と呼ぶと認識してください。

次に、この施策を関連するものでセットにする作業を行いました。

一つ左の青色部分です。

例えば、「住宅」と「移住」は移住者増やしたいという課題と、住む住宅がないという課題で関連しています。

次の「観光」、「商工業」、「農業」、「漁業」は「産業」でセットにできると思います。

このようにセットにしていたものを、行政的には「政策」に言いますが、こちらも言葉が難しいので、あまり気にせず、「政策」と呼ぶと認識してください。

「政策」レベルまでまとめると、比較的大きな分野ごとに分けられている状況になります。

この大きな分野である政策を関連するものでまとめたもの、これはいろいろ表現がありますが「柱」とか「方向性」とか「目標」などと言われます。

ここでは、「まちづくりの基本目標」と呼びます。

「住宅・移住」と「産業」をまとめて、「魅力あるまち」、以下も同様にまとめて4つの「まちづくりの基本目標」を導きました。

	<p>なお、これ以上まとめると、「将来のまちの姿」、「いいひと、いいまち、明日を拓く」のような、いわゆる「将来像」的な、キャッチフレーズ的な部分となりますので、これ以上のまとめは行いません。</p> <p>さて、このように、「まちづくりの基本目標」、「政策」、「施策」と整理しましたが、これが総合計画の「体系」となります。関連するものを結びつけた関連図と理解していただければいいかと思えます。</p> <p>資料3に戻ります。</p> <p>資料3の最後のページをご覧ください。</p> <p>これが体系となります。</p> <p>イメージしやすいのではないかと思えます。</p> <p>8ページへ戻ります。</p> <p>4つの基本目標を導いたので、次にどのように行動していくか、これを「基本目標ごとの取組方針」として設定しています。</p> <p>これについても、豊浦町の現状等を踏まえつつ、「現状」、「今後の社会情勢に対しどのような取組が必要か」、「それに対し、町民、議会、町がどのように行動するか」という観点で、まとめたものです。</p> <p>一番右側が「取組方針」となりますので、これをもとに、第3回でお示しする基本計画（骨子）の作成を進めていくことを考えております。</p> <p>最後に10ページ目です。</p> <p>ここでは、「町民・議会・役場」の役割分担について明記しております。</p> <p>こちらについても、3つの「基本姿勢」をベースにそれぞれ必要と考えられる役割について、記載しております。</p> <p>特に「協働・共創」部分については、「基本姿勢」部分でもお話ししましたが、役割分担においても、やはり重要なところではないかと認識し、記載しております。</p> <p>基本構想（骨子）案としては、このような形を事務局案として提示させていただきます。</p> <p>そして、本日の議論を踏まえ、次回、「素案」をお示しする予定です。</p> <p>なお、11ページ以降については、「参考」として、各種データを掲載する予定であります。</p> <p>以上です。</p>
<p><u>質疑応答、意見交換</u></p>	<p>(小西会長)</p> <p>それでは、事務局からの説明を踏まえて、意見交換を行っていきたいと思えます。</p> <p>事務局説明を踏まえると、今回議論が必要なことは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本構想の考え方(構成) ● 「第4章 将来のまちの姿」のキャッチフレーズ ● 基本構想における「まちづくりの基本目標」の考え方 <p>の大きく3つであると思われます。</p>

	<p>その他に、確認したいこと等ありましたら、議論の流れの中で、確認を随時してきたいと思えます。</p> <p>では、意見交換を行いたいと思えます。</p> <p>議論①(基本構想の考え方(構成))</p> <p>まず、「基本構想の考え方(構成)」についてです。 皆さん、ご意見など、いかがでしょうか。 なかなか意見が出しづらいと思えますが、先程から見ていると高橋委員が随分メモをしているようなので、何かありますか。</p>
	<p>(高橋委員) 立て板に水のように考える暇がないうちに、詰め込まれてしまって。</p>
	<p>(小西会長) 特に、事務局からうんぬんということとは？</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長) 結構、オーソドックスな形で構成はできていると思えますので、あくまで確認でいいのかなという部分はあるんですけど、今日の本題の部分は資料3の中身の方かと思っておりますので、もしパッと意見が出ないのであれば、また後程でも結構ですし、やりながらでもいいので、次に進めていただいても問題ありません。</p>
	<p>(小西会長) よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><一同了承></p>
	<p>議論②(「第4章 将来のまちの姿」のキャッチフレーズ)</p> <p>(小西会長) 続いて、「第4章 将来のまちの姿」のキャッチフレーズについてです。</p> <p>参考資料1の該当箇所には、『3章記載の豊浦町の現状を踏まえ、「将来のまちの姿」、及び今後の取組み全般にかかる「基本姿勢」を整理』とされております。 ただし、前回の会議で、「これまでと違った発想で、10年後の明るいイメージを、町民にわかるように示すのが重要」であるなどのご意見もありましたので、事務局からも皆さんのご意見・アイデアを元にした、キャッチフレーズとしたい旨を聞いています。</p> <p>皆さん、ご意見など、いかがでしょうか。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長) 「いい人いいまち明日を拓く」にあたる部分を今回も作ろうということで、そういったご</p>

	<p>提案をさせていただいておりますが、まず、それを作るのは作るのでもいいのかなと。そこも踏まえて、意見があればいただきたいと思っていますし、正直、結構使われているところには使われていますので。キャッチフレーズと言いつつも、使われるところには10年間使われると考えますと、結構大事な部分になってくると思ってまして、分かりやすくメッセージ性が高いのがいいなと思っております。</p> <p>私たちもどんなのがいいかなと、次回には出そうかなと思ってしておりますが、皆さんでこんなのいいのではないというのがあれば、それらを加味しながら作れたらいいと思っておりますので、お伺いさせていただきたいなと思ったところでございます。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>色々あります。アンケートではないですが、公募してというのもありますし、子どもたちのものを、というのがあります。前回のも、確か役場の中でリストが何十個あって、選んでというような。何個か出して頂いて。何も無い中では難しいので、何個か案を出すか、子どもたちのものはキャッチフレーズになりうるようなものは、なかなか難しい。それを捻れば出来るのかもしれませんが。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>基本構想の柱とは、考え方として、今までは行政主体、それに行政が色々なプランをお皿の上に乗せて、町民の方がどれをつまむか、というようなやり方で、きていましたが、今回はガラッと変えて、住民行政の役割は大きいとはいえ、住民の考え方と、それに基づく共助共生という趣旨の言葉に出てきているような、そういったものが基本構想の柱として、全ての項目に続いていく。そういう考え方でしょうから、それを連想させるような、それを浮かぶような言葉を選んでもらえれば、考えてもらえればいいのかかなと。そして、それがさらに明るい言葉であれば、尚更いいと思うのですが。</p>
	<p>(徳田委員)</p> <p>昔からある、どこでもあるような、海があつたり、森があつたり、緑がある、というものはやめたほうが良いと思う。どこにでもあるので。</p> <p>5年先10年先を考えた時に、高橋委員がおっしゃったように、行政が作ってうんぬんではなく、「住民参加型」を前面に出したほうが、私は良いと思います。やはり、町民と行政が一体となって、行政が全部段取りをして、町民はそれに乗っかってという、全て他人事のようなことではなくて、町民が参加するのだという事を、メインに出すようなテーマが良いと思います。キャッチフレーズは分かりませんが、ただ、「何とかのまち」とあって、サブテーマを作った方がいいです。どんなことを目指すのかを示すと良いと思います。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>一言では言いづらい、表現しづらいです。</p>
	<p>(徳田委員)</p> <p>例えば、地元でやっていたのですが、「小さな町の大きな挑戦。」実は、平成21年に商工会が、天然豊浦温泉しおさいを運営したときに、小さな町でもこんな大きなことでもできるぞ、という意味で、こういったテーマを作りました。</p>

	サブテーマで、「期待され信頼され愛される商工会を目指して」というようなテーマを作りました。
	(地方創生推進室 藤原室長) サブテーマを作るとするのは良いと思いますね。 最近で壮瞥で「そうきたか！そうべつ」というやつを作ったりしていますね。 テーマはこの委員会で決めるのでしょうか？
	(地方創生推進室 清水係長) 色々やり方はあると思っています。審議会で決める方法もあると思います。 例えば、子どもたちに作ってもらっても、最後どう選ぶかという問題が出てきます。投票してもらおう等で良いのかもしれませんが、なかなか投票の範囲をどこまでにするのか、全部子どもたちに委ねてしまっているのかということもありますので、事務局としては、3～5つ程度候補を挙げて、審議会の中で選べたらいいと考えていますが、審議会の中で選ぶ事が、どうしてもまずいのではということがあれば、違う方法を考えたいと思っています。今は総合計画策定審議会の中の議論で決められたらと考えております。
	(小西会長) では、時間のこともありますので、一応最後の③まで行って、そこで相対的な話をしていきたいと思います。 議論③(基本構想における「まちづくりの基本目標」の考え方) 参考資料2は、庁内各課から現状と課題を聞き取って、豊浦町で今後実行していくことが望まれることなどを整理し、豊浦町の方向性を見出すための資料となっております。 基本構想において、どのように盛り込まれることとなるかも含めて説明がありました。 皆さん、ご意見など、いかがでしょうか。 たとえば、「こういう課題認識が不足しているのではないか」とか、「今後、もっとこういうキーワードが重要なのではないか」とか、「この分類は、ちょっと異なる視点でまとめたほうが良いのではないか」などございましたら、ぜひご意見ください。
	(高岡委員) 高齢化のキーワードが挙がっていないのですが。10年後の年齢構成等。「人口問題」に対する課題。
	(地方創生推進室 清水係長) 一応3章の方で、現状の認識の部分で、人口について踏まえさせていただいています。P3です。今豊浦の人口は4,000人弱になっておりまして、将来、2030年では2,800人程度まで減ると推計されている状況で、その中で少子高齢化が進んでおり、子どもがまず少ないという事、65歳以上、75歳以上が増えていきますという状況が分かって

	<p>いるという意味で、P3 でそういった状況が、まず来ますよということは念頭に置いてお ります。</p> <p>P7 の基本姿勢の部分では、少子高齢化人口減少が進んだ時にも、やっていけるよ うな形ということで、現実を理解し、皆と協働でやっていきましょうということを書いてい ます。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>10 年後はそのくらいですが、さらにそのあとは高齢者が減ります。団塊の世代がい なくなるので、人口は相当減りますが、高齢化率は下がります。相当下がるわけでは ありませんが、高齢化率は少し落ち着きます。</p>
	<p>(高岡委員)</p> <p>豊浦だけではなく他皆そうですね？</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>そうです。日本の人口そのものが減ります。</p>
	<p>(高岡委員)</p> <p>将来合併しているかもしれないですね。室蘭から全部。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>国はそういう方向ですね。</p>
	<p>(高岡委員)</p> <p>将来人口については、加味はしているということですね？</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>加味はしています。そういったことは明記したいと思っております。そういったことも ありますということで。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>今日は女性委員が一人ですが、伊藤委員いかがですか？</p>
	<p>(伊藤委員)</p> <p>難しいです。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>栗栖委員いかがですか？</p>
	<p>(栗栖委員)</p> <p>今の説明の中で、ポイントを、一つ一つを挙げていくという話にも、なかなかならな いのかなと思います。ですが、求められているところがポイントポイントだと、もう少し 掘り下げた話し合いにしないと、今言ったようなところをどうするのかという事が出てこ ないと、そういう話は難しいのかなという感想です。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>例えば、人口ですと色々なことに関わってくる問題なので、個別に例えば、産業でも 漁業の話をすれば解決するのかといえば、そうではないと思っています。人口ですと、 特殊かなと思いますが、例えば産業、漁業、林業でも何でもいいですが、そこに関して は今回基本構想ということで出しておりますので、今度具体的な話をするのは、基本 計画という、この 2 本立てで作ることになっております。その骨子を次回、出そうと思</p>

	<p>っておりますので、もう少し具体的な各論の話は、次回以降できるかと考えております。今回の基本構想は、全体の抽象的なものかもしれません。全体構想なので、細かな話ではなく大きな視点、少々客観的な視点で書いているものですので、各論の議論については弱いと思います。今回、この基本構想に基づいて、具体的な政策を書きたいこうと思いますので、ここが決まらないと、次の基本計画を書く方向が定まらなと思っていますので、今回基本構想という事で、皆様のご意見等を頂こうと思っておりますので、おっしゃる通り、細かな話はしないとこれだけでは駄目だと思っております。恐らくそれが基本計画になっていくと思っております。</p>
	<p>(栗栖委員)</p> <p>柱と言う部分が、それがどうなのかということが、私は理解ができていません。今言われたその部分で、どういう事が認められるのかということが分かりませんでした。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>各委員さんも、これをどう理解して、尚且つ町民の方にもどう理解していただけるかという難しさもあると思います。</p>
	<p>(相川委員)</p> <p>やはり、細かいところが見えないと、一個一個の意見が出しづらいのではないかと、皆さんもそういう感じなのかなという気はします。</p> <p>この3つのキーワードも、僕が単純に思ったのは、もっと簡単な言葉にできないのかなということです。これですと、大人でないといけないのではないかなというふうに感じます。特に「専心」とか。「対峙」は何とかなるかと思いますが、置き換え方ができないかと、単純に見て思いました。これが駄目という事ではありません。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>その「言葉」については、考えさせていただきます。</p>
	<p>(高岡委員)</p> <p>商工会のキャッチフレーズ。提案されたものを否定するわけではありませんが、難しいなと思います。先ほど、徳田委員がおっしゃっていた、「完全に理解できました。お互いに助け合ったいこうね」という。</p> <p>美幌峠は、「ぐるっとパノラマ美幌峠」という、簡単で、すぐわかる。伊達は、「武者が育んだ大地」、豊浦は「いい人 いいまち 明日を拓く」</p> <p>今の豊浦のものは、商品に書けない。</p> <p>ああいうのも使いやすいですよ。それぐらいキャッチーなモノだいいですね。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>他にも使えるようなのはいいですよ。こういうキャッチフレーズ、これにも使えるし、とか。</p>
	<p>(高岡委員)</p> <p>そういうのが多くなってきているのでしょうか。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>小学校等でも運動会で、スローガンみたいなものをその年で作りますよね。皆で決めて皆で分かりやすいようにと。</p>

	<p>(小西会長)</p> <p>長谷川委員、いかがですか？</p>
	<p>(長谷川委員)</p> <p>全部まだ理解はできていませんが、基本構想が、計画の目的になっていくのは分かりますし、現状やって、次に何をしようかというのがあり、将来こうだ、という構想は良いです。キャッチフレーズはやはり分かりやすい、我々だけではなく子どもも、皆分かるようなもので、これから 10 年後も使いますので。皆さんが分かりやすいようなキャッチフレーズにした方がいいと思います。</p> <p>まだ、分かりにくい表現の所もありますし、これからだんだん細かな話になっていくのだろうから、その時また意見を発したいと思います。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>高田委員、いかがですか？</p>
	<p>(高田委員)</p> <p>特にないです。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>大まかな骨組みはいかがですか？</p>
	<p>(長谷川委員)</p> <p>よいと思います。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>次回 9 月、2～3 でも考えてきてもらって、持ち寄って事務局の案も出してもらって、決めればいいのか？</p>
	<p>(徳田委員)</p> <p>今の段階で、事務局で考えているものが 2 つ 3 つあるのであれば言っていた方が次考えやすいのでは？</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>今は、案はないです。逆に考えないようにしていました。町が思っているのを出すのではなく、素で皆様の意見を聞きたいなと思っていました。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>予定は 9 月 4 日頃ですね。あと 3 回ですか？</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>次回含めて 3 回ですが、最後は通しのものなので、基本的にはあと 2 回です。2 回で大きなところは見えてきます。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>キャッチフレーズは最後の最後でいいです。</p>
	<p>(米永委員)</p> <p>キャッチフレーズは、このまちの外の人に知ってもらうためのものですか？</p> <p>内部の人が、そのキャッチフレーズを元に、このまちを高めていこうというためのキャッチフレーズなのか、それとも外の人、移住者を呼びたい、こういうまちなのだと思</p>

	<p>てもらうためのキャッチフレーズなのか、何のためのものなのですか？</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>一義的には、「私たちの」総合計画なので、内部向けです。</p> <p>ただし、対外的な者を排除する理由はないと思います。なかなか町外の人で総合計画を見る人はいないです。かなりマニアな方だと思います。ただ、私の行政経験上、見ている方がたまにいます。その時に、やはりキャッチフレーズで言われることが何回かありました。豊浦でもそうですし、そうじゃないところもそうですが、見ている人はキャッチフレーズの事を言っている方はいました。ですので、あくまで一義的には、「私たちの」「このまちの」総合計画なので、住んでいる私たちの物にしたいのですが、対外的に見ても、分かりやすいし、決して一義的なものを外すことではありませんが、対外的なところにも分かりやすいという面では良いと思いますので、排除はしません。ただ一義的には、「私たちの」ものだと思います。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>「町外の人にも」という話がありましたが、話がずれますが、昨日の新聞で、ふるさと創生事業で双方色々な面で沢山もらっているところがあるというし、移住してくる、もしくはこの構想が委員の皆様からもう少しわかりやすくすると、ふるさと創生の絡みも今後できるのかなと思います。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>もし、キャッチフレーズといいますが、将来のまちの姿の部分で、先程高橋委員からも言われましたが、正直少し持ち寄っていただけると嬉しいなというのがありまして、私たちも、もちろん一生懸命考えますが、私たち以外の色々な仕事なされている皆様から、もし持ち寄っていただけるとしたら、次回のテーマの一つとさせていただきたいと思うのですが。事前に送っていただければ、資料を作ってお渡しする事もできるのですが。「〇〇なまち」には一切こだわっておりません。もしよろしければ、義務にはしませんし全員とは言いませんが、もしご協力いただけると嬉しいなという部分は正直本音ではあります。</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>今①から③まで議論していただきましたが、次回に向けて委員の皆様からご意見等頂きたいなと思っております。①から③までについて、このような構想で進めることについては、委員の皆様よろしいでしょうか。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>いいのですが、私の立場からいうと、「福祉」部分に関する取り組みや方向性があまり見えないです。例えばP8のまちづくり基本目標が4つあるうちの、3つ目「誰もが住みやすいまちの実現」というところで、「住みやすい」し「住み続けられる」という事は、「住みやすいから余所から来てください」と外に向かってアピールすることも大事ですが、今いる方々は住み続けて、お年寄りでもあと5年10年でも住み続けてもらう事で、人口減少のカーブ多少でも緩くする為には、どういう対策が必要になるかです。そういうことは基本計画の中でうたっていくのかもしれませんが、そういった「福祉」的な取り上げが少ないような気がして少し気になっていました。</p>

	<p>福祉と言っても幅広く、施設だけでなく、地域の方の、共生・共助から、地域の方が「住みやすいな」と思えるような取組も、この計画の中で、文言でも旗揚げでもいいので入れて頂けたらなと思っております。</p> <p>構想の部分にぜひ入れてほしい。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>基本構想に、ということですね。</p> <p>バランスがあるのかなと考えておまして、例えば、今おっしゃられた通り基本計画、次お示しする所では先ほど資料 2 で見ていた青、オレンジの部分について書いていく予定です。書き方にもよりますが、「福祉」関係で書いてしまうと、他の「産業」等との横並びについて考えていかなければいけないと思いますので、基本構想については、極力どれかにということではなく、全体的に書いているところですので、今後前向きに検討します。書き方の問題だと思しますので、前向きに考えさせてください。福祉だけではないと思いますので、どういった書き方ができるか、考えます。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>文言のところで、P5。</p> <p>枠の中の、アピールできるところ、「シュタイナー学園」という固有名詞が入っていることに違和感があります。「特色ある教育」(公立・私立)というような書き方をするのであれば違和感ないと思います。</p>
	<p>(米永委員)</p> <p>いろいろな教育が共存していることが、すごく大事だと思っておりますし、ここの魅力になっていると思いますが、そういうふうなことをもっと書くと良いのかなと思います。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>公私の連携など。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>公立の学校も頑張っているのは私も知っているのですが、豊浦中や豊浦小も先生と一緒に交流等しているのはよくわかっているつもりですので、修正させていただきます。</p>
	<p>(高橋委員)</p> <p>地産地消と、一次産業を活かした食・イベント等、関連があるので、それを提供できる場所が大切になってくるのだろうと、それは商工との連携になると思いますが。</p> <p>あと、個人的な事で大変申し訳ありませんが、観光の面で、公民館横に SL がおいてありますが、あの道路を通って、札幌・函館を往復している方々が停まって、写真を撮っているのです。あれも一つの産業遺産・文化遺産でやっているものですので、地域にある財産を見直して、活用していけるようなものを書き込んでいただけるといいのかなと思います。</p>
	<p>(地方創生推進室 藤原室長)</p> <p>鉄道・SL のものは、町内で鉄道研究会のようなものの動きはあるのでしょうか？</p>
	<p>(小西会長)</p> <p>今はやめたのですが、たまたま以前文化遺産のことをやっておまして、教育委員会のほうでせっかく SL があるのだから、それをまちの遺産として、指定する動きがありま</p>

	す。今言われたように写真を撮りに来る人が多いので、今後どうするかという話を進めているみたいです。
	(高橋委員) その前に綺麗にしないと駄目だね。
	(地方創生推進室 藤原室長) 今年塗るような話があります。有志の方がいまして。
	(小西会長) 本来は、本体は、表面上は借りているのですよね。その辺は JR と話をしないと、町もあれを移動するとなると、大変ですよね。
	(高橋委員) あの場所でいいと思いますが、もう少し綺麗に塗装できるといいですね。年に一回くらいボランティアの人がきてやるなど。
	(地方創生推進室 藤原室長) 2年、3年くらいに一回来ていますね、今年来るとい話もあります。
	(地方創生推進室 清水係長) 今の高橋委員のお話は、身近にある資源をちゃんと活かせるような計画を考えた方がいいのではないかというお話ですね。
	(小西会長) 豊浦町には色々貴重な財産がありますので、そういったものを活かすようなものですね。
	議論①～③のまとめ それでは、3点についての方向性のまとめとしては、事務局から提示された方向性で概ね問題ないが、もっと分かりやすい表現として、町民参加型の内容を前面に押し出していく、ということよろしいでしょうか。 ＜異議なしの声＞
<u>議事(その他)</u>	(小西会長) 最後の議題、「その他」となります。 事務局からお願いします。
	(小西会長) ところでふるさと納税について、今何件くらいですか？
	(藤原地方創生推進室長) 最近は何聞いていませんが、結構増えてはいますが、これからですね。ホタテの時期で増えます。うちはどこもそうですが、12月にグッと。 ようは、確定申告にくるので、ちょうどうちの場合は11月くらいからホタテが出るので、タイミングとしてはちょうどいいです。
<u>事務局説明</u>	(藤原地方創生推進室長) 次回の会議日程については、前回説明しました「今後の審議会スケジュール」とおりとなっております、第3回審議会は、9月4日(月)15時30分～17時30分に開催したいと考えております。

	<p>ご都合が悪い方がいらっしゃれば、再調整しますので、事務局までお知らせください。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
	<p>(地方創生推進室 清水係長)</p> <p>第4回目の日程ですが、10月25日となっております。元々10月23日を予定していましたが、都合により、10月25日にずらせていただきましたので、念のためお知らせいたします。</p>
<u>進行の交代</u>	<p>(小西会長)</p> <p>本日予定していた議事は以上となります。</p> <p>それでは、進行を事務局へお返しします。</p>
<u>閉会</u>	<p>(藤原地方創生推進室長)</p> <p>本日は、活発なご意見をありがとうございます。</p> <p>皆様からのご意見を踏まえつつ、検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>それでは、これをもちまして第2回豊浦町総合計画策定審議会を終了します。</p> <p>ありがとうございました。</p>